

令和6年度ネットリサーチ「治安に関する意識」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 犯罪や交通事故に対する不安については、「とても感じる」(15.3%)と「少し感じる」(53.9%)を合わせた【感じる】が69.2%となっている。一方で、「あまり感じない」(27.1%)と「まったく感じない」(3.7%)を合わせた【感じない】が30.8%となっている。
- 居住地域の治安状況については、「良い」(7.1%)と「やや良い」(28.6%)を合わせた【良い】が35.7%となっている。一方で、「やや悪い」(17.8%)と「悪い」(3.4%)を合わせた【悪い】が21.2%となっている。
- 県警察に力を入れて取り組んでほしいことについては、「空き巣、自動車盗など窃盗犯罪の取締り」が50.7%で最も高く、「地域のパトロールの強化」が49.6%、「交通事故の防止」が35.2%と続く。

■調査結果の概要

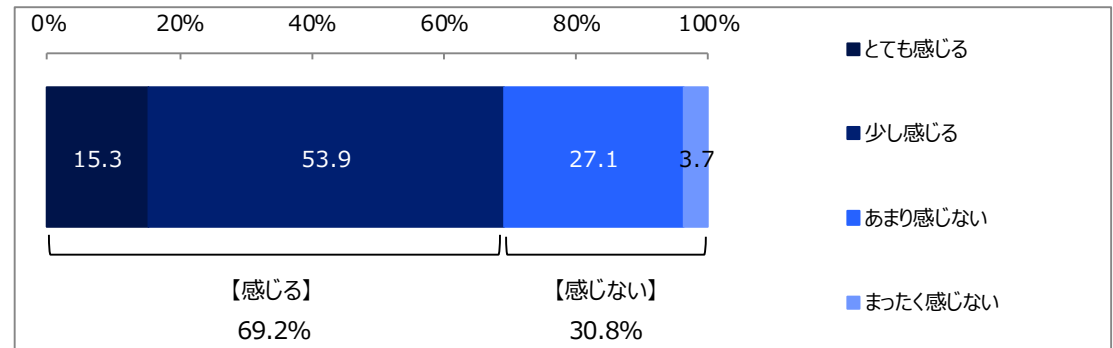
1 犯罪や交通事故に対する不安

☆ 「とても感じる」(15.3%)と「少し感じる」(53.9%)を合わせた【感じる】は69.2%となっている。

☆ 一方で、「あまり感じない」(27.1%)と「まったく感じない」(3.7%)を合わせた【感じない】は30.8%となっている。

Q1.あなたは、毎日の生活の中で犯罪や交通事故に遭う不安を感じますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
とても感じる	15.3	153
少し感じる	53.9	539
あまり感じない	27.1	271
まったく感じない	3.7	37

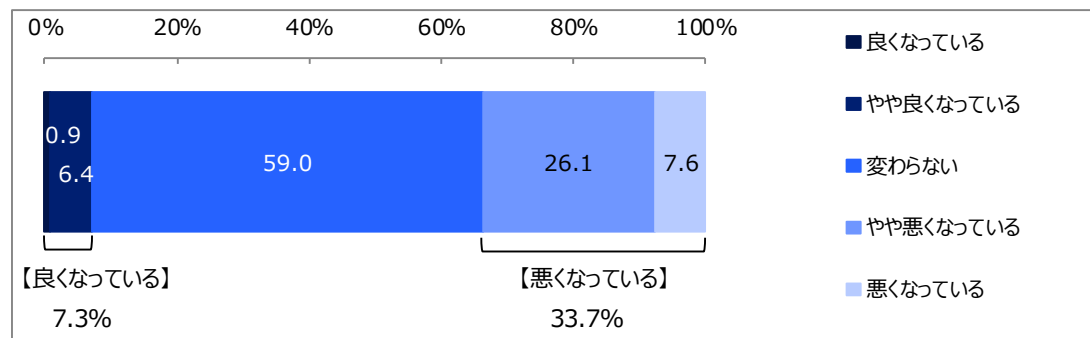


2 県内の治安状況

- ◇ 「良くなっている」(0.9%)と「やや良くなっている」(6.4%)を合わせた【良くなっている】は7.3%となっている。
- ◇ 一方で、「やや悪くなっている」(26.1%)と「悪くなっている」(7.6%)を合わせた【悪くなっている】は33.7%となっている。

Q2.あなたは、この数年の間に県内の治安はどのように変化していると思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
良くなっている	0.9	9
やや良くなっている	6.4	64
変わらない	59.0	590
やや悪くなっている	26.1	261
悪くなっている	7.6	76

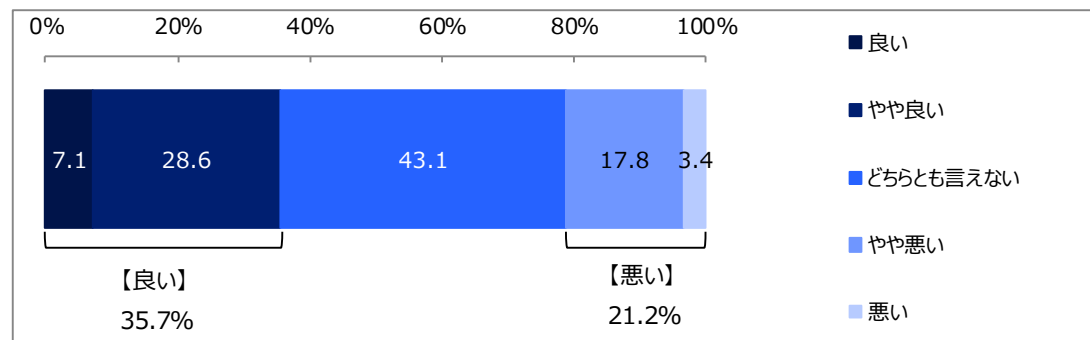


3 居住地域の治安状況

- ◇ 「良い」(7.1%)と「やや良い」(28.6%)を合わせた【良い】は35.7%となっている。
- ◇ 一方で、「やや悪い」(17.8%)と「悪い」(3.4%)を合わせた【悪い】は21.2%となっている。

Q3.あなたは、お住まいの地域の治安をどの程度だと感じていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
良い	7.1	71
やや良い	28.6	286
どちらとも言えない	43.1	431
やや悪い	17.8	178
悪い	3.4	34



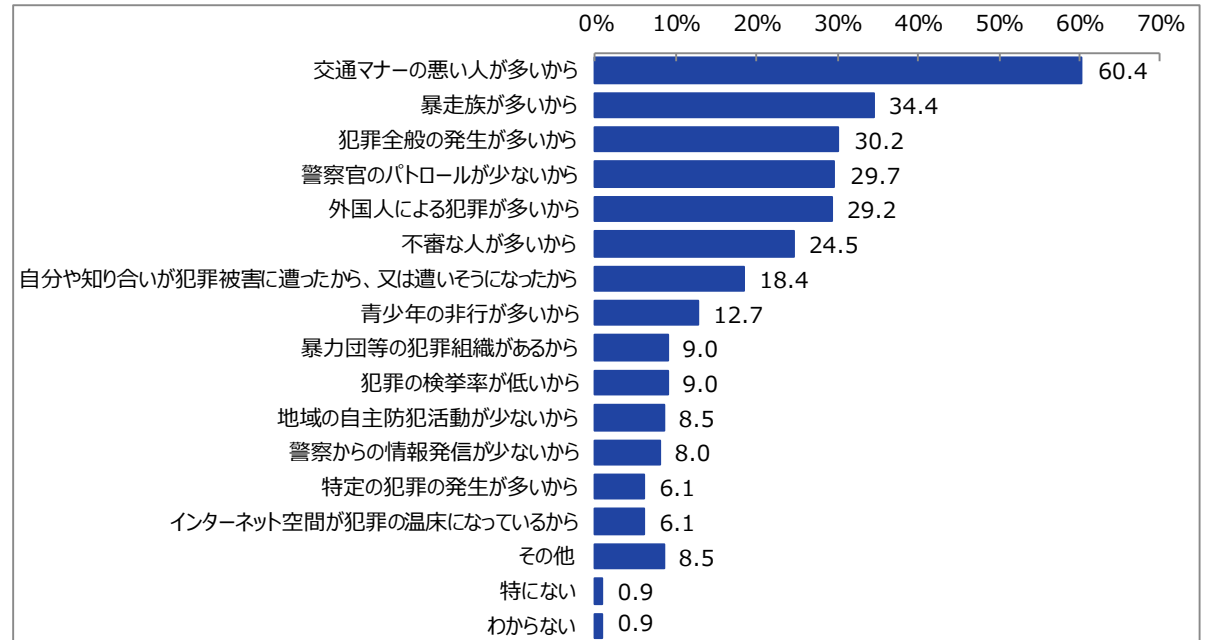
4 治安が悪いと感じる理由

◇ 「交通マナーの悪い人が多いから」が60.4%で最も高く、「暴走族が多いから」が34.4%と続く。

(Q3で「やや悪い」「悪い」と回答された方へ)

Q4.お住まいの地域の治安が「やや悪い」「悪い」と感じている主な理由は何ですか。次の中からあてはまるものを最大5つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	212
交通マナーの悪い人が多いから	60.4	128
暴走族が多いから	34.4	73
犯罪全般の発生が多いから	30.2	64
警察官のパトロールが少ないから	29.7	63
外国人による犯罪が多いから	29.2	62
不審な人が多いから	24.5	52
自分や知り合いが犯罪被害に遭ったから、又は遭いそうになったから	18.4	39
青少年の非行が多いから	12.7	27
暴力団等の犯罪組織があるから	9.0	19
犯罪の検挙率が低いから	9.0	19
地域の自主防犯活動が少ないから	8.5	18
警察からの情報発信が少ないから	8.0	17
特定の犯罪の発生が多いから	6.1	13
インターネット空間が犯罪の温床になっているから	6.1	13
その他	8.5	18
特にない	0.9	2
わからない	0.9	2

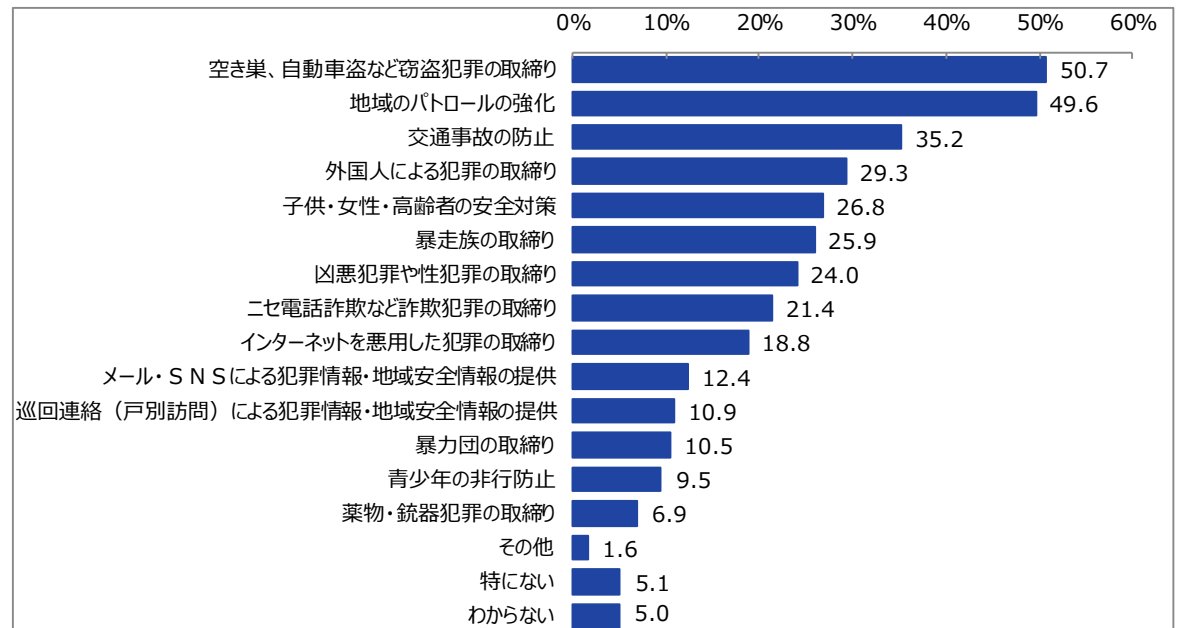


5 県警察に力を入れて取り組んでほしいこと

◇ 「空き巣、自動車盗など窃盗犯罪の取締り」が50.7%と最も高く、「地域のパトロールの強化」が49.6%、「交通事故の防止」が35.2%と続く。

Q5.あなたは、県警察に特に力を入れて取り組んでほしいことがありますか。次の中からあてはまるものを最大5つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
空き巣、自動車盗など窃盗犯罪の取締り	50.7	507
地域のパトロールの強化	49.6	496
交通事故の防止	35.2	352
外国人による犯罪の取締り	29.3	293
子供・女性・高齢者の安全対策	26.8	268
暴走族の取締り	25.9	259
凶悪犯罪や性犯罪の取締り	24.0	240
二セ電話詐欺など詐欺犯罪の取締り	21.4	214
インターネットを悪用した犯罪の取締り	18.8	188
メール・SNSによる犯罪情報・地域安全情報の提供	12.4	124
巡回連絡（戸別訪問）による犯罪情報・地域安全情報の提供	10.9	109
暴力団の取締り	10.5	105
青少年の非行防止	9.5	95
薬物・銃器犯罪の取締り	6.9	69
その他	1.6	16
特にない	5.1	51
わからない	5.0	50



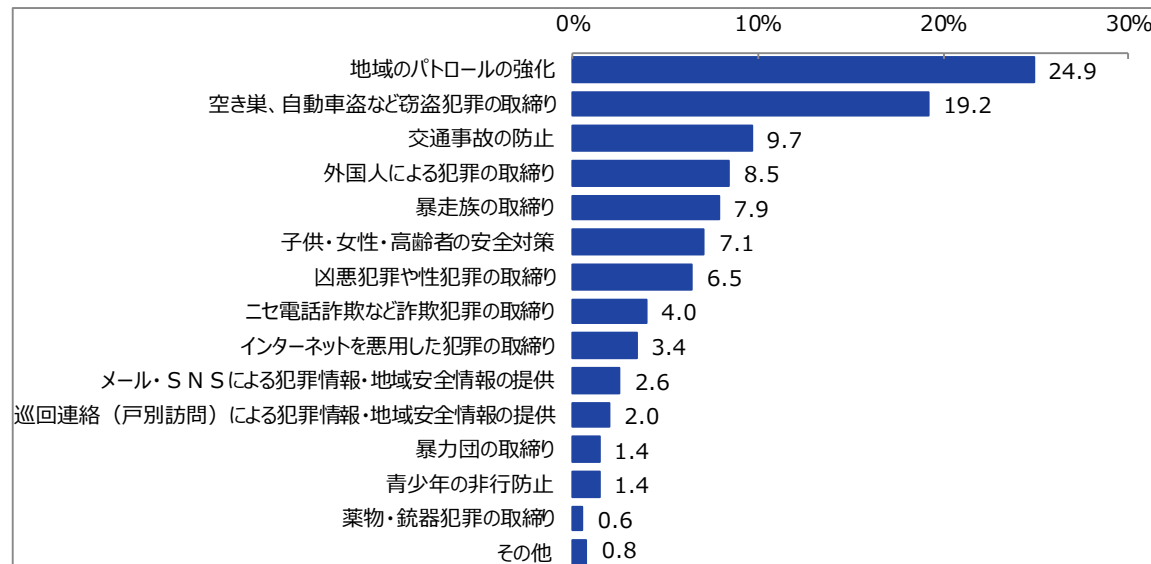
6 最も力を入れて取り組んでほしいこと

◇ 「地域のパトロール強化」が24.9%と最も高く、「空き巣、自動車盗など窃盗犯罪の取締り」が19.2%、「交通事故の防止」が9.7%と続く。

(Q5で「特にない」「わからない」以外を回答された方へ)

Q6.前問でお選びになった項目の中で、あなたが最も力を入れてほしい項目は何ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	899
地域のパトロールの強化	24.9	224
空き巣、自動車盗など窃盗犯罪の取締り	19.2	173
交通事故の防止	9.7	87
外国人による犯罪の取締り	8.5	76
暴走族の取締り	7.9	71
子供・女性・高齢者の安全対策	7.1	64
凶悪犯罪や性犯罪の取締り	6.5	58
二重電話詐欺など詐欺犯罪の取締り	4.0	36
インターネットを悪用した犯罪の取締り	3.4	31
メール・SNSによる犯罪情報・地域安全情報の提供	2.6	23
巡回連絡（戸別訪問）による犯罪情報・地域安全情報の提供	2.0	18
暴力団の取締り	1.4	13
青少年の非行防止	1.4	13
薬物・銃器犯罪の取締り	0.6	5
その他	0.8	7



■調査の目的

茨城県総合計画における主要指標（体感治安）に設定しているほか、安全安心を実感できる「いばらき」の確立のため、調査結果の推移により警察情勢の現状及び課題を把握し、今後の警察活動に反映する必要がある。

■実施概要

・実施期間：令和6年7月19日～8月1日

・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和6年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル
回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		110	246	93	362	189	1,000
性別	男性	57	126	50	187	99	518
	女性	53	120	43	175	90	482
年代別	18～29歳	17	41	16	70	33	177
	30歳代	16	42	16	61	30	165
	40歳代	21	54	20	81	41	217
	50歳代	28	59	21	83	44	235
	60歳代	28	50	20	67	41	206

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
4. 男性18～29歳の回収件数は、「県央」以外の地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性30歳代で「県北」「県南」各5サンプル及び「鹿行」「県西」各3サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。